

NUMAZU CITY COUNCIL 100th

# 沼津市議会 100周年 記念誌

100th Anniversary



沼津市議会  
100周年記念誌



沼津市議会

**100**周年  
記念誌

100th Anniversary



# 沼津市議会

# 100周年

## 記念誌 100th Anniversary

沼津市議会は100周年を迎えました。

P3 沼津市議会100周年記念ロゴマーク

P4 ごあいさつ

P6 沼津市議会100年の歩み

P36 沼津市議会の場所とモノ

P38 歴代議長・副議長

沼津市議会  
100周年記念  
ロゴマーク



沼津市議会の伝統や信頼といった実直なイメージを現代風にアレンジし、本市の代表的な風景である海・松・富士山を組み合わせたマークです。これまでの100年、そして、これからの100年を一つ一つ積み上げていくという思いを込めたデザインとし、色は本会議場をイメージしています。



## 議長あいさつ



沼津市議会議長  
高橋 達也

### 沼津市議会100周年記念誌刊行にあたって

沼津市議会が1923(大正12)年9月20日に初めて「沼津市會」を開いてから100周年を迎えることができました。これまでの先達とお支えいただいたすべての皆様に心より感謝を申し上げます。そして、この記念すべき節目に「沼津市議会100周年記念誌」を刊行することができ、大変光栄に存じます。

私たち議会は、先輩諸氏から脈々と受け継がれる伝統と歴史の中で、二元代表制の一翼を担う行政のチェック機関としての役割を果たし、市民の代表として市政に携わってきております。

この100年の歴史を顧みますと、時代とともに多くの課題、困難に直面しながらも、常に市民生活の利便性と福祉の向上のため、ひいては沼津市の発展のため、不断の努力と熱意をもって議論と研鑽を重ねてきた議会の姿がありました。その精神が今日の私たちに受け継がれ、市勢発展の礎となっております。次の100年に向かう今、議会の代表として心から敬意を表すところでございます。

この記念誌が、これまで市議会が歩んできた道のりを振り返りつつ、次代に向けて更なる飛躍をお約束する囁矢となれば幸いです。

昔も今も、議会は市民の皆様の声を代弁し続けております。また、議会は市民が望む「沼津市のカタチ」を具現化する最大の場であります。私たちは今後も変わらぬ信念で、議会の改革・活性化に努め、本市の魅力向上を追求し、市民の皆様への負託に応える議会を目指して参ります。

結びにあたり、本記念誌刊行に際して、ご尽力をいただきました関係各位に深く感謝申し上げます。市民の皆様と共に100年の歴史を称え、夢と希望があふれる未来に向けて本市議会が益々躍動することを祈念し、沼津市議会100周年記念誌刊行のごあいさつといたします。

## 市長あいさつ



沼津市長  
頼重 秀一

### 刊行を祝して

沼津市議会が、発足から100周年という大きな節目を迎え、この度、沼津市議会100周年記念誌が刊行されますことに対し、心よりお祝いを申し上げます。市議会の歩んできた長い歴史を振り返る記念誌が刊行されることは、市民の皆様が議会に対する理解を更に深め、関心を高める上で誠に意義深いものであり、元市議会議員の私としましても、感慨はひとしおであります。

本市は、大正12年に、県内では静岡、浜松に次いで3番目の市として誕生し、その後、先人たちのたゆまぬ努力により、県東部地域を牽引する広域拠点都市として発展して参りました。今年、100周年という歴史に刻まれる節目の年を迎えることができましたのも、歴代の市議会議員の皆様のご理解、ご支援の賜物であり、改めて深く敬意を表しますとともに、厚く御礼申し上げます。

この市制施行100周年を契機とし、本市の目指すまちの姿である「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」の実現に向けて、誰もがまちに誇りを持ち、未来の沼津に「夢」や「希望」を抱くことのできる、魅力あふれるまちづくりを、一層進めて参る所存であります。議員各位におかれましては、本市の更なる発展のため、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、お祝いの言葉といたします。



# 1923

## 大正12年

### 大正

- 1923 7月 沼津町と楊原村が合併し沼津市となる(人口3万4,482人)
- 9月 第1回沼津市会開会 ①
- 1926 12月 沼津大火(全焼763戸) ②

1923

①

#### 第1回沼津市会会議録

明治22(1889)年に全国の市で初めての議会が開かれた時、すべての市が「市會」という呼称を使っていた。その後、昭和22(1947)年に地方自治法が公布され、市の議会を「市議会」と呼ぶことになった。



## 昭和

- 1927 8月 沼津市の市章が制定
- 9月 沼津市初の男子普通選挙制による市会議員選挙 当選者30人 ③
- 1928 6月 旧市役所庁舎完成 ④  
(御幸町現在地)
- 1932 7月 大瀬崎のビャクシンが国の天然記念物に指定
- 1937 5月 沼津港内港竣工
- 7月 御成橋架け替えが完了 ⑤



昭和2(1927)年9月9日 沼津毎日新聞号外

#### ③ 本市初の男子普通選挙制による市会選挙結果

#### 火大の市津沼 今荒吹風烈



④ 旧沼津市役所庁舎

#### ② 沼津大火

大正15(1926)年12月12日 静岡民友新聞 夕刊

- 1941 12月 皇軍への感謝電報送付を可決 ⑥
- 1944 3月 緊急市会にて片浜村・金岡村・大岡村・静浦村と合併することを可決 ⑦
- 4月 片浜村・金岡村・大岡村・静浦村の4村が沼津市と合併(人口9万6,350人)



#### ⑤ 御成橋の渡り初め

明治45(1912)年に完成した県東部初の鉄橋。御用邸に向う皇族が「御成り」になることから御成橋と名付けられた。昭和12(1937)年に現在の橋に架け替えられ、東京・隅田川の永代橋にならった形式の橋は、当時評判になった。

#### ⑥ 皇軍への感謝電報を沼津市会で可決

皇軍とは日本軍に対する呼称の一つだが、当時は天皇が統率する軍隊として、日本の陸海軍を称した。



昭和16(1941)年12月12日 静岡新聞



4村との合併を可決した当時の会議録

#### ⑦ 緊急市会にて片浜村・金岡村・大岡村・静浦村と合併することを可決

戦時下の昭和19(1944)年、沼津市は片浜村・金岡村・大岡村・静浦村の4村と合併した。この合併は昭和15年頃から構想されていたが、反対運動などもあり実現が遅れていた。

### 世の中の出来事

- 1923(大正12)年 関東大震災
- 1925(大正14)年 男子普通選挙制成立
- 1931(昭和6)年 東京・羽田空港が開港
- 1933(昭和8)年 昭和三陸地震
- 1934(昭和9)年 室戸台風、関西を襲う
- 1939(昭和14)年 第二次世界大戦勃発
- 1941(昭和16)年 太平洋戦争勃発

## 1944 昭和19年

1944

#### 五市村合併して 大沼津市建設



昭和19(1944)年3月3日 静岡新聞



# 1945

## 昭和20年

- 1945 (昭和20年) 7月 沼津大空襲 ⑧
- 12月 沼津市立病院が総合病院として発足
- 1946 (昭和21年) 1月 御殿場線大岡駅開業
- 7月 沼津市会議員一同 皇太子殿下に桃を献上 ⑨

- 1947 (昭和22年) 4月 統一地方選挙開始後、初の市議会議員総選挙 当選者36人 (法定定数36人)  
常任委員会 14委員会 (財政・教育・衛生・社会・産業・商工・消費対策・土木・水道・都市計画・建築・港湾・観光交通・消防)
- 1948 (昭和23年) 3月 沼津市議会事務局を新設 (従来は総務課内に議会書記を設置)
- 6月 沼津市議会会議規則及び沼津市議会常任委員会条例を改正  
常任委員会 7委員会 (総務・教育・厚生・経済・土木・建設・警察消防)

- 1950 (昭和25年) 7月 柿田川を主水源とする上水道通水を開始
- 1953 (昭和28年) 3月 沼津駅舎新築完成 ⑩
- 1954 (昭和29年) 5月 沼津市で全国市議会野球大会を開催 ⑪
- 8月 本通りのアーケードが完成 ⑫
- 9月 原水爆実験及び使用反対を決議 ⑬
- 1955 (昭和30年) 4月 愛鷹村・大平村・内浦村・西浦村の4村が沼津市と合併 (人口13万193人)
- 5月 議員改選 36人 (法定定数36人)  
常任委員会 6委員会 (総務・教育・厚生・経済・土木水道・建設)

### 世の中の出来事

- 1945(昭和20)年 第二次世界大戦終結 (ポツダム宣言受諾)
- 1947(昭和22)年 日本国憲法・地方自治法施行
- 1950(昭和25)年 朝鮮戦争勃発
- 1953(昭和28)年 テレビ放送開始
- 1954(昭和29)年 第五福竜丸、ビキニ環礁で水爆被害
- 1955(昭和30)年 広島で第一回原水爆禁止世界大会

## 1955 昭和30年

1945



⑧ 空襲を受けた市街地

昭和20(1945)年7月16日夜半から17日未明にかけての空襲で、焦土と化した市街地の惨状。



⑩ 5代目沼津駅舎

昭和28(1953)年3月東海道線沼津駅舎が竣工。駅前も整備され、当時の最新型のタクシーが並び。

1955



⑫ 完成当時の本通りアーケード街

昭和29(1954)年、共同防火建築物や公共歩廊等を有するアーケード街が全国に先駆けて竣工。アーケードは当時評判となり、市内一番の繁華街であった。



### 鉄橋に架替え

沼津市狩野川の三園橋  
沼津市狩野川の三園橋は、昭和27(1952)年から3年間、車馬の交通を禁止していた木製の三園橋が鉄橋に架け替えられた。記事内の写真は架け替え前の三園橋。

昭和30(1955)年11月29日 静岡新聞

#### 三園橋が鉄橋に架け替え

老朽化により昭和27(1952)年から3年間、車馬の交通を禁止していた木製の三園橋が鉄橋に架け替えられた。記事内の写真は架け替え前の三園橋。

### ⑬ 原水爆反対の決議文を沼津市議会から政府へ

原水爆反対の決議文  
沼津市議会から政府へ  
【沼津案】原水爆反対の再決議文  
市でも同市の議員連名で国連決議文  
採入会長の閣内閣議案の採決を  
七日採決された沼津市九日定例市  
議会で議員連名で原水爆反対  
ならびに使用反対を決議、決議文  
を政府及び美空軍司令部等に送達  
した。左記市議会は会期を十月  
二日までの六日間以内と短縮した

昭和29(1954)年9月28日 静岡新聞



⑪ 沼津市で全国市議会野球大会を開催

全国市議会野球大会を前年度同大会で優勝した沼津市で開催。

昭和29(1954)年5月26日 静岡新聞

### ⑨ 沼津市会議員一同 皇太子殿下に桃を献上

沼津御用邸付近の下香貫島郷は、かつては桃郷(とうごう)と呼ばれるほど桃の栽培が盛んに行われており、議員一同が名物の「島郷の桃」を御用邸にご滞在中の皇太子殿下に献上した。



昭和21(1946)年7月18日 静岡新聞



# 1956

## 昭和31年

- 1956 9月 地方自治法の改正により常任委員会の数が4に  
(総務経済・厚生・文教・建設)
- 1957 10月 沼津駅北口が開設 14

- 1958 9月 狩野川台風が襲来し大きな被害を受ける 15
- 1962 10月 市立駿河図書館オープン
- 1963 7月 米国・カラマズー市と姉妹都市提携
- 1964 3月 ライシャワー駐日米国大使への陳謝を決議 16
- 6月 石油コンビナート建設反対を決議 17



**14 沼津駅北口が開設された頃の沼津機関区**  
明治19(1886)年、東海道鉄道の箱根越え区間(現御殿場線区間)の工事拠点として設置されたのが始まり。開通後も沼津駅で補助機関車の連結・切り離しが行われるため、重要な機関区として扱われ最新鋭の機関車が配置された。昭和9(1934)年の丹那トンネルの開通後も、沼津は電化区間と非電化区間の境として引き続き重要な役割を担い続けたが、同61(1986)年11月に廃止となった。転車台と扇型車庫も見える。(昭和32年)



**15 流木が押し寄せた永代橋**  
昭和33(1958)年、台風第22号は9月26日に伊豆半島に接近し、大雨をもたらした。沼津市内では床上浸水270戸、床下浸水811戸の被害があった。狩野川流域で大規模な水害が発生したことから「狩野川台風」と命名され、気象庁が公式に命名した最初の台風となった。



**16 ライシャワー駐日米国大使への陳謝を決議**  
昭和39(1964)年、アメリカ大使館ロビー前で、沼津市在住の19歳の少年が、車に乗ろうとしたライシャワー駐日米国大使を刺した、いわゆる「ライシャワー事件」を受け、沼津市議会が大使への陳謝を可決した。

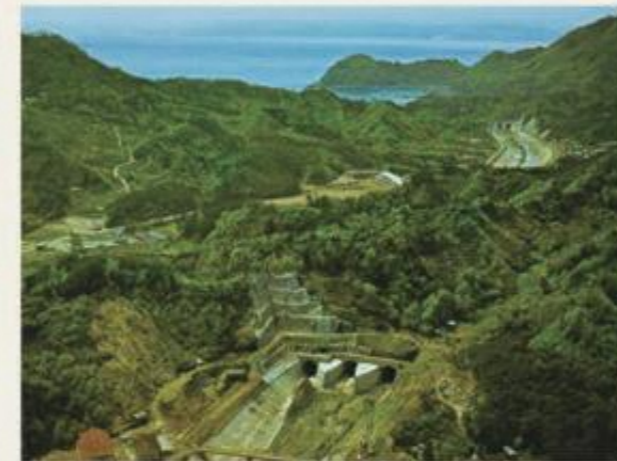
- 1965 7月 狩野川放水路完成 18
- 1966 7月 市役所現庁舎完成 19



昭和39(1964)年6月17日 静岡新聞

**17 石油コンビナート建設について全会一致で反対を決議**

昭和36(1961)年発表の石油コンビナート第1次案が挫折したあと、経済事情の好転、東駿河湾地区の工業整備特別地域指定などを背景に、静岡県は同38(1963)年、再度の石油コンビナート計画を立てた。沼津市には火力発電所と江浦湾の巨大タンカー接岸施設の設置が予定されていた。これに対し、住民反対運動が高まり、同39(1964)年6月16日の市議会定例会には反対する住民約5,000人が市役所に押し寄せ、市議会は石油コンビナート建設反対を決議した。その後、片浜・豊岡の工業団地計画に石油コンビナートを設置する動きがあり、再び反対運動が活発化し、同年9月16日に市は建設反対を表明し、さらに9月30日に市議会で建設反対決議を可決した。



**18 狩野川放水路竣工**

昭和26(1951)年に建設が着手されたが、完成前の同33(1958)年9月26日の狩野川台風により、狩野川流域で大きな被害が発生。その後、建設が推進され、同40(1965)年7月に完成した。この放水路は今日に至るまでの水害被害防止に貢献している。

### 世の中の出来事

- 1956(昭和31)年 経済白書「もはや戦後ではない」と宣言
- 1958(昭和33)年 一万円札発行 東京タワーが完成
- 1960(昭和35)年 カラーテレビ放送開始
- 1964(昭和39)年 東海道新幹線開業 東京オリンピック開催

# 1966 昭和41年

**石油コンビナート建設 反対決議を可決**



昭和39(1964)年10月1日 静岡新聞

**19 市役所現庁舎完成**



庁舎新築祝賀パレード



# 1967

## 昭和42年

- 1967 (昭和42年) 5月 **議員改選 40人(法定定数40人) 20**
- 6月 **ぬまづ議会だより創刊 21**
- 8月 **市議会全員協議会で原町と合併するという基本方針を決定 22**

- 1968 (昭和43年) 3月 **港大橋開通**
- 4月 **原町が沼津市と合併(人口18万4,173人) 23**
- 4月 **原町の編入に伴い原地区選出市議会議員4人の定数増加**  
「市町村合併の特例に関する法律」に基づく
- 1969 (昭和44年) 4月 **新幹線三島駅開業 24**
- 5月 **東名高速道路全線開通、沼津インターチェンジの利用を開始 24**

- 1970 (昭和45年) 4月 **市の花を「はまゆう」、市の木を「松」に制定**
- 6月 **公害対策特別委員会を設置 25**
- 7月 **沼津御用邸記念公園開園**
- 10月 **沼津港外港開港**
- 1971 (昭和46年) 5月 **議員改選 40人(法定定数40人)**
- 1973 (昭和48年) 6月 **市立少年自然の家オープン**
- 7月 **市制50周年 市民憲章を制定**
- 10月 **市民体育館オープン 26**

### 世の中の出来事

- 1969(昭和44年) 米国の宇宙船アポロ11号、人類初の月面着陸に成功
- 1970(昭和45年) 日本万国博覧会(大阪万博)開催
- 1972(昭和47年) 札幌冬季オリンピック開催  
沖縄の施政権返還、沖縄県が発足
- 1973(昭和48年) 第一次石油危機(オイルショック)

## 1973 昭和48年

### 24 新幹線三島駅開業・東名高速道路全線開通

昭和44年1月1日発行のぬまづ議会だより第9号で完成間近の新幹線三島駅と東名高速道路沼津インターチェンジを紹介している。

## 1967



(昭和42年4月28日選挙)

### 20 新たに選ばれた第11期沼津市議会議員40人



昭和42(1967)年9月1日 静岡新聞

### 22 原町との合併基本方針を決定

### 23 沼津市と原町の合併調印式



### 21 ぬまづ議会だより創刊

当時も現在と同様に年4回の定例会を中心に発行していたが、発行部数が限られており、全戸配布ではなく回覧物として発行した。



昭和45(1970)年6月26日 静岡新聞

### 25 公害対策特別委員会を設置

急速に社会問題化している公害問題に対して積極的に調査や対策を立て、市当局に進言するとともに協議するため、沼津市公害対策特別委員会を設置した。

## 市民体育館建設 本決まり



昭和46(1971)年12月9日 静岡新聞

### 26 市民体育館(令和5年閉館)の建設予算を可決







# 1983

昭和58年

- 1983 (昭和58年) 5月 議員改選 40人
- 5月 海岸線調査特別委員会を設置 31
- 1984 (昭和59年) 10月 明治史料館オープン

1983

### 海岸線利用海から調査

沼津市の地形などチェック

沼津市議会が、海岸線利用海から調査特別委員会を設置し、本市の海岸線利用海について調査を行うこととした。委員会は、本市の海岸線利用海について調査を行うこととした。委員会は、本市の海岸線利用海について調査を行うこととした。

昭和58(1983)年10月22日 静岡新聞

31 海岸線調査特別委員会を設置

### 沼津市会が全会一致で可決

岳陽市(中)との都市提携

沼津市議会が、岳陽市(中)との都市提携について全会一致で可決した。提携は、両市の友好都市提携を目的として行われる。

昭和59(1984)年12月12日 静岡新聞



32 中国・岳陽市と友好都市提携

- 1985 (昭和60年) 4月 中国・岳陽市と友好都市提携 32
- 1986 (昭和61年) 4月 保健センター・青少年教育センターオープン
- 10月 沼津市議会議員の定数減少条例を改正 33  
(議員定数を法定44人・条例定数40人から条例で36人に)
- 11月 一般・特別会計決算特別委員会(定数40人)を設置  
(審査終了により解散)
- 1987 (昭和62年) 3月 東海道本線片浜駅開業
- 3月 核兵器廃絶平和都市宣言
- 5月 議員改選 36人

### 沼津市議会 議員定数4人削減

法定数、大幅に割り込む

沼津市議会が、議員定数を大幅に削減することを決定した。削減は、本市の人口減少と財政状況を考慮して行われる。

昭和61(1986)年10月10日 静岡新聞

33 議員定数を40→36に法定定数から8人削減

議員定数を4人減員とし、次回の一般選挙から議員定数を36人とした。これにより、法定定数と比べて8人の減となり、昭和62(1987)年4月26日に行われた選挙では当選者が36人となった。

- 9月 病院事業会計決算特別委員会(定数9人)及び水道事業会計決算特別委員会(定数9人)を設置
- 11月 若山牧水記念館オープン
- 11月 一般会計決算特別委員会(定数20人)及び特別会計決算特別委員会(定数16人)を設置
- 1988 (昭和63年) 3月 鉄道高架化促進対策特別委員会(定数12人)を設置
- 7月 市立病院が東椎路に新築移転

### 先進国の実態つぶさに

沼津市議会 視察団、来月欧州へ

沼津市議会が、先進国の実態を調査するため、来月欧州視察団を発派する。視察団は、フランス、ドイツ、イタリアの3カ国を訪問する。

平成元(1989)年8月22日 静岡新聞

34 海外視察団が欧州を訪問

議員22人と市関係者ら総勢30人が下水道処理施設や市街地再開発事業などの先進国であるフランスなど3カ国を自費で訪問した。

### 35 永代橋架け替えが完了

昭和62(1987)年に架け替え工事が始まり、平成2(1990)年に完了。写真は4月7日に行われた開通式の様子。



- 平成
- 1989 (平成元年) 9月 沼津市議会海外視察団が欧州を訪問 34
  - 1990 (平成2年) 4月 永代橋架け替えが完了 35

### 世の中の出来事

- 1985(昭和60)年 国際科学技術博覧会(つくば科学万博)開催
- 1986(昭和61)年 男女雇用機会均等法施行
- 1989(平成元)年 消費税導入

# 1990 平成2年

1990

### 海外視察団が欧州を訪問

議員22人と市関係者ら総勢30人が下水道処理施設や市街地再開発事業などの先進国であるフランスなど3カ国を自費で訪問した。





# 1991

平成3年

- 1991 (平成3年) 2月 沼津市中学生議会を開催 **36**
- 3月 沼津～新宿間直通電車「あさぎり」運行開始

- 6月 議会だよりの全戸配布開始 **37**
- 6月 議会運営委員会を法制化 **38**
- 8月 市立沼津高校夏の甲子園大会出場
- 1992 (平成4年) 4月 西浦河内に市民の森オープン
- 7月 岩崎恭子選手がバルセロナオリンピック競泳女子200m平泳ぎで金メダル **39**

- 1993 (平成5年) 7月 市立図書館オープン
- 1994 (平成6年) 8月 沼津御用邸記念公園西附属邸を改修公開 **40**
- 8月 桐陽高校夏の甲子園大会で1勝

## 世の中の出来事

- 1992 (平成4年) バルセロナ五輪で岩崎恭子選手が金メダル獲得
- 1993 (平成5年) プロサッカーのリーグ開幕
- 1994 (平成6年) 関西国際空港開港



**37 全戸配布となっためまづ議会だよりの全戸配布**  
平成3年6月1日発行の第103号から全世帯配布となり、再生紙を使用した。また、この頃から写真も多く使われ、読みやすくなっている。



**沼津市の歴史を改めて**  
沼津市議会が、市立第五中学校の生徒らに、沼津市の歴史を改めて教える。市議会が、市立第五中学校の生徒らに、沼津市の歴史を改めて教える。市議会が、市立第五中学校の生徒らに、沼津市の歴史を改めて教える。

### 沼津市、生徒らが議会を質問

平成3(1991)年2月17日 静岡新聞

### 36 沼津市中学生議会を開催

市内16校から33人の中学生が議員役となり、本会議場で市長に対し一般質問が行われた。

## 会議規則改正案など可決

### 議運委員長に西山氏(新政会)

沼津市会

沼津市議会六月定例会は、二十七、開会し、会期を七月十日までの十四日間と決めた後、議員協議の市議会会議規則の改正案など七議案、市長提出の本年度一般会計補正予算案など三十議案を可決した。このうち議運委員長に西山氏(新政会)が、新市民クラブ、自民党議員各一人、公明党、共産党、無所属各一人、

### 38 議会運営委員会を法制化

地方自治法の一部改正に伴い、議会運営委員会が正式な委員会として位置づけられた。

平成3(1991)年6月28日 静岡新聞



沼津市

## 岩崎選手に市民栄誉賞授与

特別スポーツ栄誉賞

五輪の歴史に輝いた「岩崎恭子選手」が、特別スポーツ栄誉賞を受賞。市長は授賞式で、岩崎選手の活躍を称え、市民栄誉賞を授与した。授賞式は、市立第五中学校で行われ、市長、市議会議員、関係者約五十人が参加した。岩崎選手は、バルセロナ五輪で、競泳女子200m平泳ぎで金メダルを獲得した。授賞式では、市長が岩崎選手に賞状と栄誉賞を授与し、市長は「岩崎選手は、沼津市を代表して活躍し、市民の誇りとなっている。今後も活躍を期待している」と述べた。岩崎選手は、「市長の激励のおかげで、頑張ることができた。今後も努力を怠らないうえ、市民の期待に応えたい」と述べた。

平成4(1992)年12月13日 静岡新聞

### 39 岩崎恭子選手がバルセロナ五輪で金メダル

沼津市出身の岩崎恭子選手(当時市立第五中学校)がバルセロナオリンピック競泳女子200m平泳ぎで金メダルを獲得。当時、競泳史上最年少(14歳6日)での金メダル獲得となった。これに対し、市から市民栄誉賞が、市議会から特別表彰が贈られた。

### 40 沼津御用邸記念公園西附属邸改修公開

明治26(1893)年に開設された沼津御用邸は、昭和44(1969)年に廃止となり、同45(1970)年7月に市の記念公園として開園。その後、平成6(1994)年に西附属邸が、同11(1999)年に東附属邸が改修公開された。



平成5(1993)年5月25日 静岡新聞

## 1994 平成6年



「沼津市体育・スポーツ史」より

## 御用邸記念公園 改修工事の契約案可決

沼津市議会は二十四日、臨時会を開き、沼津御用邸記念公園の西附属邸改修工事の契約案を全会一致で可決した。改修工事の契約案は、六月定例会で可決した。改修工事の契約案は、六月定例会で可決した。改修工事の契約案は、六月定例会で可決した。



# 1995

平成7年

- 1995 (平成7年) 3月 一般質問の発言時間を20分に定める 41
- 4月 高齢者等福祉世代交流活動施設「千本プラザ」オープン
- 9月 沼津市議会と沼津市自治会連合会が核実験全面禁止などの署名活動を実施 42

- 10月 すべての核兵器の廃絶を求める意見書を全会一致で可決
- 11月 沼津市議会と沼津市自治会連合会の代表が中、仏の両大使館へ核廃絶署名23万人分を提出

1996 (平成8年) 3月 香貫大橋開通



1995

**一般質問を20分に制限**

沼津市議会 平成7年2月9日 静岡新聞

沼津市議会が、一般質問の発言時間を20分に制限することを決定した。これは、議員の発言機会を確保し、市民の質問に迅速に対応するためである。また、議会の運営効率を向上させることにもつながる。この決定は、議員の発言機会を確保し、市民の質問に迅速に対応するためである。また、議会の運営効率を向上させることにもつながる。

平成7(1995)年2月9日 静岡新聞

**41 一般質問の発言時間を定める**

限られた日程の中で、より多くの議員に質問の機会を保障すべく、発言時間を1人20分と定め、現在に至っている。

**42 市議会と自治会連合会が核実験抗議の署名活動を実施**

中国及びフランスの核実験に抗議し、国際社会における核実験の全面禁止と核兵器廃絶を目指して市議会と自治会連合会が共催で署名活動を実施。9月28日の街頭署名開始から1カ月の間に市内外から233,980人の署名が集まり、11月7日には市議会と自治会連合会の代表がこの署名簿を携えて首相官邸、中国大使館及びフランス大使館へ出向き、核実験の全面禁止と核廃絶を訴えた。

**県内政治・経済**

**核実験抗議の署名活動**

沼津市議会と自治会連合会が、中国及びフランスの核実験に抗議し、国際社会における核実験の全面禁止と核兵器廃絶を目指して市議会と自治会連合会が共催で署名活動を実施。9月28日の街頭署名開始から1カ月の間に市内外から233,980人の署名が集まり、11月7日には市議会と自治会連合会の代表がこの署名簿を携えて首相官邸、中国大使館及びフランス大使館へ出向き、核実験の全面禁止と核廃絶を訴えた。

**沼津市10万人達成に手こたえ**

沼津市議会の核実験抗議署名活動に積極的な協力姿勢を示す高校生ら。沼津市唯一の沼津城北高

**議会と自治会一体 草の根運動を展開**

来月、中仏両大使館に提出

平成7(1995)年10月22日 静岡新聞

- 1997 (平成9年) 2月 市議会が広島市長が被爆後の都市再建について演説 43
- 4月 上土町・通横町地区市街地再開発事業が竣工 44
- 4月 我入道の渡し船の運航を再開



## 被ばく後の都市再建説明

**沼津 広島市長が記念演説**

「平和都市」市民に講演も

市議会が広島市長が被爆後の都市再建について演説を行った。本会議場で他の自治体の首長が演説するのは初めてで、講演後の市民を対象とした講演会が開催された。講演後「核兵器のない平和な世界の実現を求め、'97沼津宣言」を採択した。

平成9(1997)年2月5日 静岡新聞

1997 平成9年

1997

**43 市議会が広島市長が演説**

核兵器廃絶平和都市宣言10周年を記念し、当時の広島市長が本会議場において、被爆後の広島市の都市再建について演説を行った。本会議場で他の自治体の首長が演説するのは初めてで、講演後の市民を対象とした講演会が開催された。講演後「核兵器のない平和な世界の実現を求め、'97沼津宣言」を採択した。





# 1998

平成10年

1998 10月 旧「キラメッセぬまづ」オープン  
(平成10年)



1998

- 1999 (平成11年)
  - 1月 新成人議会を初開催 **45**
  - 3月 あゆみ橋開通
  - 4月 沼津御用邸記念公園東附属邸オープン **46**
  - 4月 新南消防署・消防指令センター完成
  - 11月 駿豆地区の市町村間で住民票の写し及び印鑑登録証明書の広域交付開始

## 大人の自覚促す沼津市 新成人議会 成人式大賞ゲット



40人が地域づくり提言  
アイデア、高評価

沼津市議会が11月19日、新成人議会を本会議場で初開催した。若者の政治離れに歯止めをかけようと、平成10年度から市議会本会議場で20歳を迎えた新成人の代表者が議員役となり、市長ら市当局に対し市政に関する質問を行っている。新成人による模擬議会は、全国初の試みで、平成13(2001)年には新成人式研究会の第1回成人式大賞でアイデア賞を受賞した。

平成13(2001)年4月21日 静岡新聞



### 46 沼津御用邸記念公園 東附属邸オープン

平成6(1994)年の西附属邸の改修・復元に続き、東宮(昭和天皇)の御学問所として設けられた東附属邸も改修された。

- 12月 意見書の審議に際し議場で初の手話通訳を実施 **47**
- 2000 (平成12年)
  - 4月 ミューバス片浜循環運行開始
  - 7月 ビーバス運行開始
  - 11月 特例市へ移行
  - 11月 沼津市庄司美術館「モン ミュゼ沼津」オープン



沼津市の十一月に開かれた市議会本会議が、十一月十三日、一聴覚障害者の社会参加を促進する「聴覚障害者の社会参加を促進する意見書」の審議に際し、議場の手話通訳が初めて実施された。手話通訳は、議場の審議状況を聴覚障害者に伝えるため、議場で初めて実施された。議員

平成11(1999)年12月14日 静岡新聞

**聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書**  
1963年の聴覚障害者年金制度、民法や刑法の規定など聴覚障害者の自立と社会・経済・文化の各分野の活動への参加を阻害した行政・企業・市民の理解や支援は、ノーマクイゼーションの理念のもと、憲法に定憲してきているところである。  
しかし、その中でも、今年もなお聴覚障害者に対する多くの法令において、聴覚障害者が絶対的欠格として何らの障害程度や実態進行能力などに一切関係なく、資格・免許等から一律に排除されている状況がある。  
また、欠格事由が記載されていないものの、結果として聴覚障害者の社会参加を制限している法令もある。著作権法では、録音したビデオテープに手話通訳や字幕をつけて聴覚障害者に普及する旨を認めておらず、テレビ番組を自由に享受し視聴を促進する生活向上に資することが認められている。公職選挙法に規定しては、候補者のテレビ放送に手話通訳

や字幕をつけることを法的に求めていない。つまり、投票を知る機会によって選挙権が保障されていないのである。  
これらについて、聴覚の障害及び障害者に係る医学的水準、障害及び障害者の機能を決定する機器の発達等科学技術の水準、先進諸国における制度のあり方その他の社会環境の変化を踏まえれば、社会も障害者自身も適切に対応していかねばならない。よって政府においては、今年中に決定された障害者就業推進本部の欠格条項見直しの方針に基づき、関係府庁で議する必要な措置に際し、早急な対応を要する。聴覚障害者の社会参加を



▲審議の際、手話通訳者が初めて議場に入りました。制限する欠格条項が早期に改正されるよう強く要望する。  
なお、この意見書は関係官庁へ送付しました。

ぬまづ議会だより

## 2000 平成12年

**47 市議会の審議で初めて手話通訳を実施**  
「聴覚障害者の社会参加を制限する欠格条項の早期改正を求める意見書」の審議に際し、傍聴者の聴覚障がい者に審議状況を伝えるため、議場で初めて手話通訳を実施した。

### 議場で初の手話通訳 審議状況理解に配慮

聴覚障害者から傍聴 沼津市議会



# 2001

平成13年

- 2001 (平成13年) 8月 | ミューバス原循環運行開始
- 12月 | 委員会室用傍聴システムを導入

- 2002 (平成14年) 5月 | 子育てサポートキャラバン開始
- 6月 | 沼津市議会議員定数条例を制定 48  
(議員定数の法定定数廃止に伴い議員定数を条例で36人から34人に)
- 6月 | 議事録検索・閲覧システムを導入 49
- 7月 | 沼津駅北口駅前広場完成 50

- 2003 (平成15年) 2月 | 社会福祉会館移転オープン
- 4月 | 市立沼津高校中等部開校
- 4月 | 3市2町で消防緊急情報指令システムを共同運用開始
- 5月 | 議員改選 34人
- 7月 | 西浦海浜施設「らららサンビーチ」オープン

- 9月 | 沼津市・戸田村合併に関する調査特別委員会を設置 51

## 世の中の出来事

- 2001(平成13)年 | アメリカで同時多発テロ発生
- 2002(平成14)年 | 2002 FIFA 韓ワールドカップ開催
- 2003(平成15)年 | イラク戦争勃発



# 2003 平成15年

## HPで議事録検索



### 発言内容も手軽に

#### 沼津市議会 閲覧システムを導入

沼津市議会、過去の議会での発言内容をインターネット上で検索できるシステムを導入した。知りたい内容の検索も簡単で、膨大な発言内容をめぐることもキーワードを入力するだけで検索できる。また、発言内容も手軽に閲覧できる。

沼津市議会、過去の議会での発言内容をインターネット上で検索できるシステムを導入した。知りたい内容の検索も簡単で、膨大な発言内容をめぐることもキーワードを入力するだけで検索できる。また、発言内容も手軽に閲覧できる。

平成14(2002)年6月18日 静岡新聞

#### 49 ホームページに議事録検索・閲覧システムを導入

本会議等の議事録をインターネット上で検索・閲覧できるシステムを導入。検索・閲覧は市議会ホームページからキーワードや発言者名などからでもできるようになった。

#### 48 沼津市議会議員定数条例の制定

地方自治法の一部改正により、議員定数の法定定数が廃止され、条例定数制度が導入された。本市では平成14年6月定例会で議員定数を現行の36人から2減らして、34人にする案を賛成多数で可決し、36人を維持する条例案は否決した。また、これに伴い同定例会に提出された「沼津市議会議員の定数削減に反対し現状維持を求める請願」は、みなし不採択となった。

# 2001

## 議員定数2減の34

### 沼津市議会が条例案可決

沼津市議会は十七日、の統一地方選挙の適用で現行三十六の議員定数を二減らして三十四とする定数条例案を賛成多数で可決した。共産党が提出した現行の定数三十六を維持する条例案は否決された。新条例は来年一月から、改革に取り組みたいとする市自治会連合会の前

平成14(2002)年6月18日 静岡新聞

期待にこたえたいことができた。一方、現状維持を求めた共産党は「議員は行政と市民のパイプであり、コスト削減で論じているのはおかしい。特別市の指定で市の仕事が増え、議員の責任も増している」と削減に反対した。

# 2003

## 合併特別委を一転設置

### 「戸田への誠意」示す

沼津市議会は九日定例会最終日の十九日、本会議の冒頭で議員定数と関係する調査特別委員会「の設置議案を工程し、全会一致で可決した。委員長には水口清久副議長が就任した。市当局からの設置要請に応じた。最終本会議は、このほか、一般計補正予算案など十八案件をすべて原案通り可決した。

### 市町村合併

市町村合併に関する特別委員会については、沼津市議会が推薦する「沼津市合併推進委員会」が設置された。市町村合併推進委員会が推薦する「沼津市合併推進委員会」が設置された。市町村合併推進委員会が推薦する「沼津市合併推進委員会」が設置された。



#### 50 沼津駅北口駅前広場 供用開始

沼津駅北口駅前広場の整備にあたっては、障がいを持った方、車椅子使用者、高齢者などの意見を反映させながら整備計画が改善された。歩道の段差をなくしたり、雨に濡れないようシェルターを設けるとともに、音声誘導システムが採用されるなど、すべての人に配慮したユニバーサルデザインの視点が導入されている。

#### 51 沼津市・戸田村合併に関する調査特別委員会を設置

沼津市と戸田村の合併にかかる諸問題の調査・研究・検討を行うため、地方自治法第110条第1項に基づく特別委員会を設置した。

平成15(2003)年9月20日 静岡新聞



# 2004

平成16年

- 2004 (平成16年) 5月 音声認識システムを導入 **52**
- 5月 南部浄化センターオープン
- 9月 沼津港大型展望水門「びゅうお」オープン

## 音声認識装置を導入

沼津市議会 議事録作成で効率化

沼津市議会では、議事録や会議の作成に、発言が即時文字に転写される音声認識システムを導入する。二十日の民生福祉委員会精度の検証作業を行った。本導入で、議事録の作成が、従来の手入力から、音声認識による自動転写に変わると見込まれる。これにより、議事録作成に要する時間が大幅に短縮され、議員の負担軽減が図られる。また、議事録の作成に要する時間が短縮されると、議員の負担軽減が図られる。また、議事録の作成に要する時間が短縮されると、議員の負担軽減が図られる。



設置作業を終えた音声認識システム

## 52 全国の議会で初めて音声認識システムを導入

これまで沼津市議会では、本会議の議事録作成は外部委託し、委員会などの記録は録音音声を議会議務局職員が反訳していたが、時間的・人的負担軽減を目的に、発言が即時に文字データ化される音声認識システムを平成16(2004)年に全国の議会で初めて導入した。これにより、議事録作成に要する時間が大幅に短縮された。

## 54 戸田・松城家住宅、国の重要文化財に指定

松城家住宅は、江戸時代から主に廻船業を営み財を成した松城家の居宅として明治6(1873)年に棟上げされた。建築様式は擬洋風建築と呼ばれ、幕末から明治初期のわずかな期間にのみ建築された貴重なものであり、松城家住宅は日本に現存する擬洋風建築の中でも最初期のものとされる。



- 9月 し尿処理施設「アクアプラザ」オープン
- 9月 予算・決算の特別委員会を設置 **53**
- 2005 (平成17年) 4月 戸田村が沼津市と合併(人口21万1,244人)
- 2006 (平成18年) 4月 市立看護専門学校開校

## 予算・決算特別委を設置

沼津市議会は開会中の審議は常任委員会に九訂定例会から予算案、決算案を一括して審議する体制を構築することになった。平成16年9月の定例会で、一般会計予算特別委員会、特別会計予算特別委員会、企業会計決算特別委員会、企業会計決算特別委員会を設置し、同日、引き継がれる。議会は一年かけて活発化。今年定例会には一般会計と企業会計の両方を含む特別委員会を設置することになった。

平成16(2004)年9月16日 静岡新聞

## 53 予算・決算の特別委員会を設置

平成16年9月定例会から、予算・決算議案についてはそれぞれ特別委員会をその都度設置して、委員会審査を行うこととした。特別委員会は各会期ごとに提出される議案に応じて設置され、この定例会では一般会計予算特別委員会、特別会計予算特別委員会、企業会計決算特別委員会が設置された。

- 4月 市立小・中学校の授業に「言語科」を新設
- 7月 松城家住宅が国の重要文化財に指定 **54**
- 10月 会議録作成システムを導入
- 11月 沼津駅付近鉄道高架事業認可取得 **55**
- 12月 沼津市議会会議規則及び沼津市議会委員会条例を改正 **56**  
(予算・決算委員会を常任委員会に)



## 55 沼津駅付近鉄道高架事業の事業認可取得

事業主体である静岡泉が沼津駅付近鉄道高架事業の事業認可を取得した。

## 56 会議規則及び委員会条例を改正

地方自治法の一部改正に伴い、充実した議会運営に向け規則及び条例を改正。改正の主な内容は、予算・決算審査にあたる一般会計予算決算委員会と特別会計企業会計予算決算委員会の両委員会を常任委員会とするほか、専決処分の要件の明確化、議長への臨時会の招集請求権の付与など。法改正に合わせた規則と条例の改正は全国に先駆けられた取り組みだった。

## 世の中の出来事

- 2005(平成17)年 日本国際博覧会(愛・地球博、愛知万博)開催
- 2006(平成18)年 トリノ冬季オリンピック開催

# 2006 平成18年

2006

## 委員会条例改正へ

### 地方自治法で 沼津市議会 会議規則も

沼津市議会(定数二十)は八日、議員全体会議を開き、地方自治法の一部改正に伴う沼津市議会委員会条例(議事規則)の一部改正案を十三日の十一日定例会で最終的に承認した。改正案は、市長が議長を務め、議長は議長会の議長を務めることとなる。また、議長は議長会の議長を務めることとなる。また、議長は議長会の議長を務めることとなる。

平成18(2006)年12月9日 静岡新聞



# 2007

平成19年

- 2007 (平成19年) 6月 議会だより編集委員会の発足・議会だよりのカラー化 **57**
- 11月 第39回技能五輪国際大会開催 **58**
- 11月 県東部地域コンベンションビューロー設立

- 11月 水産複合施設「沼津魚市場INO(イーノ)」オープン
- 12月 ぬまづ健康福祉プラザ「サンウェルぬまづ」オープン
- 2008 (平成20年) 3月 大手町地区再開発ビル「イーラde」オープン
- 4月 牛臥山公園オープン
- 11月 本会議インターネット中継を開始 **59**
- 11月 沼津市議会会議規則及び沼津市議会委員会条例を改正  
(議会運営委員会の任期の明確化、「協議等の場」として全員協議会・会派連絡会・議会だより編集委員会を位置付け)

- 12月 男女共同参画推進事業所認定開始
- 2009 (平成21年) 2月 代表質問の導入及び一般質問において一括質問一括答弁方式を採用 **60**
- 4月 沼津港マーケットモール「沼津みなと新鮮館」オープン
- 2010 (平成22年) 3月 沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具が重要有形民俗文化財に指定
- 2011 (平成23年) 3月 沼津市議会議員定数条例を改正 **61**  
(議員定数を32人から28人に)
- 5月 議員改選 28人
- 10月 消防本部・北消防署新庁舎完成

- 2012 (平成24年) 4月 新東名高速道路開通
- 4月 NEOPASA駿河湾沼津オープン

## 世の中の出来事

- 2007(平成19年) 新潟中越沖地震
- 2008(平成20年) 米国リーマン・ブラザーズ経営破綻
- 2011(平成23年) 東日本大震災

## 2012 平成24年

新たに選ばれた第21期議員 34人の紹介  
任期：平成22年1月1日～平成23年1月1日

**57** 議会だより編集委員会の発足と議会だよりのカラー化  
各会派から選ばれた議員による議会だより編集委員会を設置し、議会だよりの編集・発行は編集委員会で行うこととした。また、平成19年6月15日発行の第172号からフルカラー印刷になった。



**58** 第39回技能五輪国際大会を開催  
平成19(2007)年11月15日～18日、門池北側(現静岡同立工科短期大学沼津キャンパス)を会場に開催され、世界46ヶ国・800名を超える若者が47の競技職種で熱戦を繰り広げた。



**59** 本会議インターネット中継を開始  
平成20年11月定例会から本会議当日の生中継映像と録画映像の配信、更に文字による会議記録と運動した映像の配信を始めた。



**60** 代表質問と一括質問一括答弁方式を導入  
平成21(2009)年1月22日 静岡新聞  
充実した議事運営のため、平成21年2月定例会から市長の施政方針に対し会派を代表して質問を行う代表質問制と、通告した全ての内容を議員が一括して質問し、それに対し市長(執行機関)が一括して答弁する一括質問一括答弁方式を導入した。

代表質問制など導入  
沼津市議会は二十一日、代表質問は、二月定例会で行われる市長の施政方針演説に対し、今年から導入する。一般質問については、通告した質問をすべて一括して質問し、一括答弁方式を採用することなどを決めた。議会の活性化を目的とした昨年六月の地方自治法改正を受け、議会内に審議会を設けて議案運営を支援するなどの慣例となっていた。併し、六月の委員会で議案審査などを行うこと、同日の会議で承認された。

市議選直前に定数4減  
沼津市議会2月定例会は15日、最終本会議を開き、議員定数を32から28に削減する議員定数条例改正案を賛成多数で可決した。4月の市議選から適用される。定数をめぐっては、昨年の6月定例会で34から32に減らす議案が可決され、次の市議選で反転される予定だったが、21に削減を求める直接請求が届けられた。市議会行政推進委員会は「市議選は行革に向け率先して定数を減らすべき」として、2月28日に削減する要請書をあらためて議長に提出した。

討論では「市民目線で行政を監視し無駄を洗い出す作業」を前提で、一定の人数が必要との見解や、市議選まで1カ月半を切る中で「新人など準備を進めている」との反対意見もあったが、採決では28案を賛成した4人の議員15人に加えて1人が賛成に転じ、過半数に達した。

**61** 沼津市議会議員定数条例を改正  
「沼津市議会議員定数条例改正請求書」の提出を受け、平成22年2月定例会において地方自治法に基づき、議員の定数を34人から21人とする条例改正案が提出され、採決の結果、否決した。その後、平成22年6月定例会において議員発議により、議員の定数を34人から32人とする案と28人とする案の2つの条例改正案が提出され、採決の結果、32人とする条例改正案を可決した。これを受け、次回の選挙から議員定数を32人とする予定であったが、平成23年2月定例会において議員発議により、議員の定数を32人から28人とする条例改正案が提出され、採決の結果、可決した。



# 2013

平成25年

- 2013 (平成25年) 6月 多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」先行オープン 62
- 6月 市制施行90周年記念事業「ぬまづLOVEフェスタ」開催
- 8月 ぬまづ市議会だよりにリニューアル 63

2013



## 62 「キラメッセぬまづ」先行オープン

平成25(2013)年6月にキラメッセぬまづが改築され、ふじのくに千本松フォーラム(愛称:プラサヴェルデ)の多目的展示イベント施設として先行する形で開業し(写真上)、翌年7月、プラサヴェルデが全面開館された(写真下)。

- 2014 (平成26年) 4月 市立静浦小中一貫学校開校
- 7月 ふじのくに千本松フォーラム「プラサヴェルデ」グランドオープン
- 12月 議員発議により沼津市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例を制定 64

- 2015 (平成27年) 4月 道の駅「くるら戸田」オープン



議会だよりにリニューアルしました！  
表紙を飾る題字デザインが48点の応募作品の中から決定しました！

**ピックアップ議案**  
● 新中野地区駅前広場の整備に向けた取り組みが盛り込まれています！ P.2

**市政について問う！**  
● 18人の議員が一斉質問を行いました！ P.4~8

**委員会活動レポート**  
● 4委員会の所管事務調査について報告します P.10

## 63 ぬまづ市議会だよりにリニューアル

平成25年8月15日発行の第198号から議会だよりにリニューアルした。ページ数を4ページ増やし、各定例会の主な議案を分かりやすく伝える「ピックアップ議会」や小・中学生などの作文を掲載する「ぼくとわたしのゆめ・たから」のコーナーなどを設け、紙面の充実を図った。また、議会だよりの題字デザインを公募し、10歳から68歳までの36人から48点の応募があった。選定の結果、市内在住の横川久美子さんの富士山と愛鷹山、街並み、御成橋、千本松原、海をイメージした題字デザインが選ばれた。

- 2016 (平成28年) 3月 東名高速道路愛鷹スマートインターチェンジ開通
- 4月 常任委員会を改称(総務・文教産業・民生病院・建設水道)
- 4月 駿東伊豆消防組合発足



市のProud NUMAZUの取り組みへの協力として市議会オリジナルロゴマーク入りポロシャツを議員が自費で制作。平成28年9月定例会最終日の本会議で全議員が着用した。



**ピックアップ議会**  
沼津市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例を制定しました！

**空家対策推進へ 沼津市議提案で初条例**

16日の沼津市議会11月定例会最終本会議で、議員が発議した「沼津市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」が可決された。条例は「規定による」にあり、市内でも増加が予測される中、空き家対策を推進させるため、条例制定を進めた。条例制定を進めた。条例制定を進めた。条例制定を進めた。



政策検討協議会の様子

## 世の中の出来事

- 2013(平成25)年 富士山が世界文化遺産に登録
- 2016(平成28)年 マイナンバー制度運用開始 熊本地震

# 2016 平成28年

2016

## 空家対策推進へ 沼津市議提案で初条例

16日の沼津市議会11月定例会最終本会議で、議員が発議した「沼津市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」が可決された。条例は「規定による」にあり、市内でも増加が予測される中、空き家対策を推進させるため、条例制定を進めた。条例制定を進めた。条例制定を進めた。条例制定を進めた。

平成26(2014)年12月17日 静岡新聞

## 64 空き家条例を市議会提案で制定

平成26年11月定例会において、全議員が提案者となり「沼津市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」が上程され、可決・制定した。沼津市議提案では初の政策条例となり、上程までには議員による政策検討協議会などで何度も検討が重ねられた。



# 2017

平成29年

- 2017 (平成29年) 2月 一般質問において一問一答方式を本格導入 **65**
- 3月 議会活性化等特別委員会を設置 **66**

- 3月 新東名高速道路駿河湾沼津スマートインターチェンジ開通
- 9月 INN THE PARK オープン **67**
- 2018 (平成30年) 2月 「沼津市議会 大規模災害対応指針-議員の災害対応行動マニュアル-」を策定



### 議会活性化へ「市民との会」沼津市の特別委が意見交換

沼津市議会議会活性化等特別委員会は12月、市民との情報提供や意見交換を目的とした「市民との会」(仮称)市民24人が参加、委員が2016年度決算の審議課題や方向性を検討するに実施した。

沼津市議会議会活性化等特別委員会は12月、市民との情報提供や意見交換を目的とした「市民との会」(仮称)市民24人が参加、委員が2016年度決算の審議課題や方向性を検討するに実施した。

沼津市議会議会活性化等特別委員会は12月、市民との情報提供や意見交換を目的とした「市民との会」(仮称)市民24人が参加、委員が2016年度決算の審議課題や方向性を検討するに実施した。

### 66 議会活性化等特別委員会を設置

市民に開かれた議会の実現に向けて、議会活性化等に関する調査・研究を行うため、地方自治法第109条に基づく特別委員会「議会活性化等特別委員会」を設置。委員会では、市民への情報提供や意見交換の場として「(仮称)市民との会」なども開かれ、市民から議会に対する様々な意見をいただいた。



### 67 INN THE PARK オープン

林間学校などで利用されていた旧沼津市立少年自然の家が民間事業者によりリノベーションされ、泊まれる公園「INN THE PARK」としてオープン。右上の写真は昭和48(1973)年6月に供用開始された当時の少年自然の家。

沼津市議会 議会活性化等特別委員会

### 世の中の出来事

- 2017(平成29年) 九州北部豪雨
- 2019(令和元年) ラグビーワールドカップ 日本で開催
- 2020(令和2年) 新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大

- 2019 (平成31年) 2月 公益社団法人日本フェンシング協会と包括連携協定を締結
- 令和 2019 (令和元年) 7月 全議員にタブレット端末を導入 **68**
- 2020 (令和2年) 3月 議員発議により沼津市手話言語条例を制定 **69**
- 8月 加藤学園高等学校 甲子園交流試合出場



タブレット端末の操作方法を確認する市議＝沼津市役所

### タブレット端末導入

沼津市議会では、タブレット端末の導入により、議員の業務効率化を図る。タブレット端末を導入することで、議会のICT化として、議会・議員活動の充実や効率化を図るため、全議員にタブレット端末を配布した。タブレット端末を導入することで、議会のICT化として、議会・議員活動の充実や効率化を図るため、全議員にタブレット端末を配布した。

令和元(2019)年8月6日 静岡新聞



オンライン委員会の様子

### 68 タブレット端末を導入

平成29(2017)年に設置した議会活性化等特別委員会の調査・研究の結果を踏まえ、議会のICT化として、議会・議員活動の充実や効率化を図るため、全議員にタブレット端末を配布。議案や報告事項の資料を電子化して本会議や常任委員会で活用するほか、現在ではオンライン会議にも利用している。



手話関係団体との意見交換



議案の提案説明をする議員と手話通訳者

### 69 沼津市手話言語条例を制定

平成29(2017)年から2年間、民生病院委員会において手話の普及を所管事務調査のテーマとして調査・研究が進められ、令和元(2019)年6月に沼津市手話言語条例検討協議会を設置し、手話言語条例の制定に向けて協議を重ねてきた。令和2年2月定例会において「沼津市手話言語条例」が議員発議にて上程され、全会一致で可決した。

## 2017

### 65 一問一答方式を本格導入

議会での議論の更なる活性化と、より分かりやすい議会運営を目指して、平成27年2月定例会から、従来の「一括質問一括答弁方式」に加え、「一問一答方式」を試行的に導入してきたが、平成29年2月定例会から本格導入した。



沼津市議会 議会活性化等特別委員会

## 2020 令和2年

## 2020



# 2021

## 令和3年

- 2021 (令和3年) 2月 新貨物ターミナル用地の取得完了
- 3月 沼津市議会会議規則及び沼津市議会委員会条例を改正 70  
(オンラインを活用した委員会の開催について規定)
- 6月 常任委員会など委員会会議記録をホームページで公開 71

### 6月 フェンシング交流拠点施設「F3 BASE」オープン



新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年5月臨時会から令和5年2月定例会までの間、本会議場の議席の間隔を1席空け、市当局の本会議出席者を関係職員のみとした。

開催年	会議名
2023/05/22	令和5年第1回臨時会
2023/02/10	令和5年第16回定例会
2022/11/25	令和4年第15回定例会

検索機能: 会議一覧, 議案検索, 記録検索, ヘルプ

お問い合わせ: 0009-49031

### 71 委員会会議記録をホームページで公開

これまでの本会議の会議記録に加えて、常任委員会などの委員会会議記録のホームページにおける公開を開始した。



72 沼津市総合体育館「香陵アリーナ」オープン

- 2023 (令和5年) 3月 沼津市総合体育館「香陵アリーナ」オープン 72
- 7月 市制施行100周年 73
- 9月 市議会100周年 74

### 世の中の出来事

- 2021(令和3)年 東京オリンピック・パラリンピック開催
- 2022(令和4)年 ロシアがウクライナに本格的な軍事侵襲

## 2023 令和5年

### 沼津市「質高いまちづくり」誓う

#### 市制100周年記念式典



約3,400人が集い、沼津市制100周年を祝った記念式典  
11日午前、同市大手町のプラザウェルデ

令和5(2023)年7月2日 静岡新聞

73 市制施行100周年



74 市議会100周年

## 2021

オンライン活用へ規則改正案可決  
沼津市議会閉会  
沼津市議会は19日、2月定例会最終本会議を開き、2021年度一般会計予算案や明正副市長再任の人事案、議員提案による市議会会議規則の一部改正案など計34件を原案通り可決、承認して閉会した。

市議会会議規則の改正では、新型コロナウイルス感染症防止などを目的に、議員が実際に集まるのが難しい場合、オンラインを活用した委員会を開催できるようにした。一般会計予算案の組み替え動議案を提出したが、賛成少数で否決された。

令和3(2021)年3月20日 静岡新聞



オンラインによる委員会の様子

### 70 沼津市議会会議規則及び委員会条例を改正

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止措置の観点等から、オンラインを活用した委員会を開催できるよう、会議規則及び委員会条例を改正した。

## 2023



## 議会の場所



傍聴席から見た議場

本会議場



議長席から見た議場



傍聴席

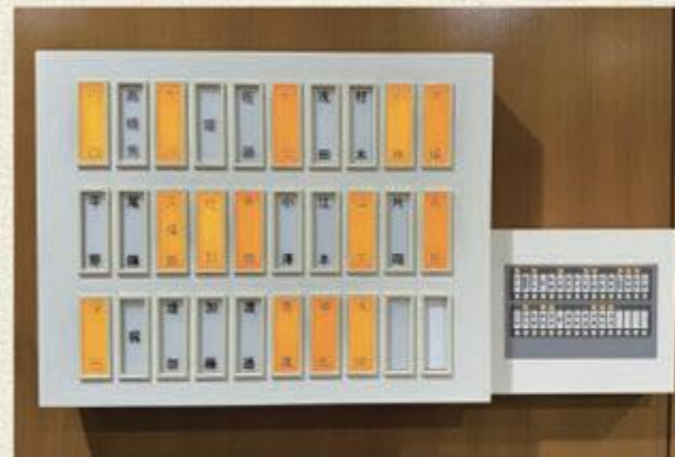


委員会室



正副議長室

## 議会のモノ



### 議員出退表示板

議員は登庁時に出退表示板のランプを点灯し、退庁時には消灯させます。

出退表示板は市庁舎3階の議会棟ロビー、正副議長室及び議会事務局に設置されており、点灯により議員の出退状況が確認できます。

### 議員徽章

沼津市議会では、全国市議会議長会が制定している全国共通の議員徽章（バッジ）を使用しており、議員は議場に入場する際、この徽章を着用します。徽章は中央に「市」の文字が配され、周辺を左ひわりの10枚の菊花弁が囲い、台座はあずき色のモール織の生地で覆われています。



本会議会議録

会議録は本会議や委員会での発言や議事の経過などをまとめた公的な会議の記録で、地方自治法において作成が義務付けられており、議会図書室に収蔵しています。

また、市役所市民相談センターや沼津市立図書館に会議録を備え付けるとともに、市議会ホームページにおいて会議記録を掲載し、広く市民の皆様への公開を行っています。

### 会議録



委員会会議録





# 歴代議長・副議長

議長				副議長			
代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	森田泰次郎	大正 12. 9.20	昭和 2. 3. 4	1	千秋久次郎	大正 12. 9.20	大正 14. 8.28
2	後藤松太郎	昭和 2. 3. 4	昭和 2. 9. 8	2	真野佐右衛門	大正 14. 8.29	昭和 2. 9. 8
3	島田宅次郎	昭和 2. 9.19	昭和 4.12.13				
4	岩田 実	昭和 5. 2.12	昭和 5. 6.28	3	市川亀次郎	昭和 2. 9.19	昭和 6. 9. 8
5	真野喜久平	昭和 5. 7. 9	昭和 6. 9. 8				
6	真野喜久平	昭和 6. 9.19	昭和 7.11.29	4	岡野豪夫	昭和 6. 9.19	昭和 7.11.14
7	岡野豪夫	昭和 7.12.14	昭和 8. 6. 8	5	原田胤徳	昭和 7.12.14	昭和 8. 6. 9
8	杉山周蔵	昭和 8. 7.20	昭和 9. 3.13	6	鈴木善助	昭和 8. 9. 7	昭和 9. 3.13
9	岡野豪夫	昭和 9. 3.19	昭和10. 9. 8	7	横田 定	昭和 9. 3. 9	昭和10. 9. 8
10	杉山周蔵	昭和10. 9.19	昭和11. 3. 5	8	成田敏郎	昭和10. 9.19	昭和11. 3.31
11	成田敏郎	昭和11. 4. 1	昭和13.12. 4	9	岡田吾市	昭和11. 4. 4	昭和14. 5.15
12	山本立太郎	昭和14. 1.10	昭和14. 5.12				
13	岡田吾市	昭和14. 5.16	昭和14. 9. 8	10	堀江清吉	昭和14. 5.16	昭和14. 9. 8
14	山本立太郎	昭和14. 9.23	昭和18. 9.11	11	岩崎竹次郎	昭和14. 9.23	昭和18. 9. 6
15	勝亦干城	昭和18. 9.11	昭和19. 9.30	12	小沢藤作	昭和18. 9.11	昭和19. 9.30
16	森田豊寿	昭和19. 9.30	昭和20.10.18	13	堀江清吉	昭和19. 9.30	昭和20.10.18
				14	佐藤虎次郎	昭和20.10.18	昭和21.11.22
17	真野為雄	昭和20.10.18	昭和22. 2.28	15	岩崎岩吉	昭和22. 2.28	昭和22. 4.29
18	鈴木辰蔵	昭和22. 5.28	昭和23. 6.23	16	植松春吉	昭和22. 5.28	昭和23. 6.23
19	塩谷六太郎	昭和23. 6.23	昭和24. 7.19	17	森 藤作	昭和23. 6.23	昭和24. 9.21
20	松本 一郎	昭和24. 9.21	昭和25. 5.25	18	小西川和男	昭和24. 9.21	昭和25. 5.25
21	小西川和男	昭和25. 5.25	昭和26. 4.29	19	小沢荒之助	昭和25. 5.25	昭和26. 4.29
22	山本 清	昭和26. 5.12	昭和27. 4.18	20	山田準三	昭和26. 5.12	昭和27. 5.27
23	小沢荒之助	昭和27. 5.27	昭和28. 7.17	21	竹内正樹	昭和27. 5.27	昭和28. 7.17
24	清水清二	昭和28. 7.17	昭和29. 7.31	22	加藤清之輔	昭和28. 7.17	昭和29. 7.31
25	清水清二	昭和29. 7.31	昭和30. 4.12	23	加藤清之輔	昭和29. 7.31	昭和30. 1.14
26	後藤寿雄	昭和30. 5.23	昭和31. 5.25	24	岡田吉信	昭和30. 1.27	昭和30. 4.29
				25	加藤俊輔	昭和30. 5.23	昭和31. 5.25
27	西島恭正	昭和31. 5.25	昭和32. 2.26	26	米野与七郎	昭和31. 5.25	昭和31. 6. 4
				27	稲葉武衛	昭和31. 6. 4	昭和31. 9.27
28	岡田吉信	昭和32. 2.26	昭和33. 5.28	28	増田由郎	昭和31.10. 4	昭和32.12.25
29	竹内正樹	昭和33. 5.28	昭和34. 5. 1	29	秋山喜久太郎	昭和32.12.25	昭和33.12.17
30	田中 保	昭和34. 5.21	昭和35. 5. 9	30	大川幸衛	昭和33.12.17	昭和34. 5. 1
31	田中 保	昭和35. 5. 9	昭和36. 5.24	31	伊東清重	昭和34. 5.22	昭和35. 5. 9
32	土佐谷梅吉	昭和36. 5.24	昭和36.12.22	32	小池直次郎	昭和35. 5. 9	昭和36. 5.25
33	原 精一	昭和36.12.22	昭和37. 5.28	33	杉山良吉	昭和36. 5.25	昭和36.12.22
				34	厚木武治郎	昭和36.12.22	昭和37. 5.30

議長				副議長			
代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
34	保坂 貢	昭和37. 5.30	昭和37.12.22	35	浜野清蔵	昭和37. 5.30	昭和37.12.22
35	真野健作	昭和37.12.22	昭和38. 5. 1	36	坂倉隆一	昭和37.12.22	昭和38. 5. 1
36	増田由郎	昭和38. 5.21	昭和39. 6.16	37	鈴木武雄	昭和38. 5.21	昭和39. 6.23
37	田上 博	昭和39. 6.23	昭和40. 6. 8	38	喜多精吉	昭和39. 6.23	昭和40. 6. 8
38	杉山和吉	昭和40. 6. 8	昭和41. 7. 7	39	内野鹿造	昭和40. 6. 8	昭和41. 7. 7
39	田中雄次郎	昭和41. 7. 7	昭和42. 5. 1	40	坂本勝雄	昭和41. 7. 7	昭和42. 5. 1
40	増田由郎	昭和42. 5.24	昭和43. 6.26	41	工藤与市	昭和42. 5. 1	昭和43. 6.26
41	大橋光雄	昭和43. 6.26	昭和44. 7.16	42	久保田誠一	昭和43. 6.26	昭和44. 7.16
42	渡辺 清	昭和44. 7.16	昭和45. 9.30				
43	増田由郎	昭和45. 9.30	昭和46. 5. 1	43	加藤愛次郎	昭和44. 7.16	昭和46. 5. 1
44	内野鹿造	昭和46. 5.19	昭和47. 2. 7	44	関 与一	昭和46. 5.20	昭和47. 2. 7
45	上原 栄	昭和47. 2. 7	昭和48. 7.31	45	小沢道春	昭和47. 2. 7	昭和48. 7.31
46	大嶽一明	昭和48. 7.31	昭和48. 9.28				
47	鈴木政之助	昭和48. 9.28	昭和49. 2. 4	46	杉本 泰	昭和48. 7.31	昭和49. 2. 4
48	岩瀬敏彦	昭和49. 2. 4	昭和49.10. 9				
49	久保田誠一	昭和49.10.23	昭和50. 5. 1	47	岩崎安次郎	昭和49. 2. 4	昭和50. 5. 1
50	杉本 泰	昭和50. 5.20	昭和51. 6. 4				
51	真野芳雄	昭和51. 6. 4	昭和52. 6.29	48	立木栄一	昭和50. 5.26	昭和51. 6. 4
52	岩崎安次郎	昭和52. 6.29	昭和52.12. 5	49	山崎吾作	昭和51. 6. 4	昭和52.10. 5
53	田上 博	昭和52.12. 6	昭和53. 3.11	50	東 賞平	昭和52.10. 5	昭和52.12. 6
54	喜多精吉	昭和53. 3.11	昭和53. 3.24	51	渡辺新作	昭和52.12. 6	昭和53. 3.11
55	田上 博	昭和53. 3.24	昭和53.10. 2	52	武藤貞夫	昭和53. 3.11	昭和53. 3.24
56	高村 実	昭和53.10. 2	昭和54. 5. 1	53	鈴木幸三郎	昭和53. 3.24	昭和53.10. 2
57	西原 豊	昭和54. 5.23	昭和55. 6.25	54	鈴木 実	昭和53.10. 2	昭和54. 5. 1
58	大嶽一明	昭和55. 7. 2	昭和56. 6.18	55	稲木保和	昭和54. 5.23	昭和55. 7. 2
59	山崎吾作	昭和56. 6.18	昭和57. 7. 6	56	川口末吉	昭和55. 7. 2	昭和56. 6.18
				57	初山竹雄	昭和56. 6.18	昭和57. 7. 6
60	一杉健一	昭和57. 7. 6	昭和58. 5. 1	58	加藤時蔵	昭和57. 7. 6	昭和57.11.23
				59	白岩良平	昭和57.11.26	昭和58. 5. 1
61	秋山正興	昭和58. 5.23	昭和59. 6.26	60	竹村忠雄	昭和58. 5.23	昭和59. 6.27
62	鈴木嘉一	昭和59. 6.27	昭和60. 3.12	61	大嶽 敦	昭和59. 6.27	昭和60. 3.12
63	稲木保和	昭和60. 3.12	昭和60. 3.29				
64	立木栄一	昭和60. 3.30	昭和60.11. 5	62	大橋鉄男	昭和60. 3.12	昭和60.11. 6
65	初山竹雄	昭和60.11. 6	昭和61. 7.11	63	西山次雄	昭和60.11. 7	昭和61.10. 9
66	武藤貞夫	昭和61. 7.12	昭和62. 5. 1	64	原 新平	昭和61.10. 9	昭和62. 5. 1
				65	村尾昌也	昭和62. 5.25	昭和63. 6.22
67	西山次雄	昭和62. 5.25	平成元. 7. 6	66	矢岸顕寛	昭和63. 6.22	平成元. 7. 7



議 長				副 議 長			
代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
68	西山次雄	平成元. 7. 7	平成 3. 5. 1	67	村尾昌也	平成元. 7. 7	平成 2. 6. 29
69	立木栄一	平成 3. 5. 27	平成 5. 7. 5	68	杉山光弘	平成 2. 6. 29	平成 2. 8. 23
70	庄司睦	平成 5. 7. 5	平成 7. 5. 1	69	高島忠義	平成 2. 10. 4	平成 3. 5. 1
71	川口末吉	平成 7. 5. 22	平成 9. 6. 11	70	山本一喜	平成 3. 5. 27	平成 4. 6. 25
72	山本一喜	平成 9. 6. 11	平成 11. 5. 1	71	高島宏行	平成 4. 6. 25	平成 5. 7. 5
73	宮代義幸	平成 11. 5. 25	平成 13. 6. 8	72	小川晃司	平成 5. 7. 5	平成 6. 6. 27
74	高島忠義	平成 13. 6. 8	平成 15. 5. 1	73	野田久雄	平成 6. 6. 27	平成 7. 5. 1
75	鈴木秀郷	平成 15. 5. 26	平成 17. 6. 7	74	高田久三	平成 7. 5. 22	平成 8. 6. 28
76	山崎篤	平成 17. 6. 7	平成 17. 6. 23	75	宮代義幸	平成 8. 6. 28	平成 9. 6. 11
77	土屋春夫	平成 17. 6. 23	平成 19. 5. 1	76	鈴木秀郷	平成 9. 6. 11	平成 10. 6. 10
78	杉山功一	平成 19. 5. 25	平成 21. 6. 8	77	土屋春夫	平成 10. 6. 10	平成 11. 5. 1
79	山崎篤	平成 21. 6. 8	平成 23. 5. 1	78	井口八千喜	平成 11. 5. 25	平成 12. 6. 1
80	城内務	平成 23. 5. 17	平成 25. 6. 7	79	渋谷興一	平成 12. 6. 1	平成 13. 6. 8
81	真野彰一	平成 25. 6. 7	平成 27. 5. 1	80	関高義	平成 13. 6. 8	平成 14. 6. 3
82	浅原和美	平成 27. 5. 21	平成 29. 6. 6	81	杉山功一	平成 14. 6. 3	平成 15. 5. 1
83	頼重秀一	平成 29. 6. 6	平成 30. 4. 22	82	水口清久	平成 15. 5. 26	平成 16. 6. 7
84	渡部一二実	平成 30. 5. 16	令和元. 5. 1	83	真野彰一	平成 16. 6. 7	平成 17. 6. 9
85	植松恭一	令和元. 5. 20	令和 3. 6. 7	84	松田英子	平成 17. 6. 9	平成 18. 6. 5
86	浅原和美	令和 3. 6. 7	令和 5. 5. 1	85	服部博義	平成 18. 6. 5	平成 19. 5. 1
87	高橋達也	令和 5. 5. 22		86	浅原和美	平成 19. 5. 25	平成 20. 6. 6
				87	伊藤正彦	平成 20. 6. 6	平成 21. 6. 8
				88	井口哲男	平成 21. 6. 8	平成 22. 6. 7
				89	滝口文昭	平成 22. 6. 7	平成 23. 1. 11
				90	曳田卓	平成 23. 1. 28	平成 23. 3. 15
				91	深瀬勝	平成 23. 5. 17	平成 24. 6. 5
				92	頼重秀一	平成 24. 6. 5	平成 25. 6. 7
				93	二村祥一	平成 25. 6. 7	平成 26. 6. 9
				94	加藤元章	平成 26. 6. 9	平成 27. 5. 1
				95	植松恭一	平成 27. 5. 21	平成 28. 6. 6
				96	渡部一二実	平成 28. 6. 6	平成 29. 6. 6
				97	渡邊博夫	平成 29. 6. 6	平成 30. 6. 5
				98	高橋達也	平成 30. 6. 5	令和元. 5. 1
				99	梶泰久	令和元. 5. 20	令和 2. 6. 5
				100	加藤明子	令和 2. 6. 5	令和 3. 6. 7
				101	深田昇	令和 3. 6. 7	令和 4. 6. 7
				102	長田吉信	令和 4. 6. 7	令和 5. 5. 1
				103	久保田吉光	令和 5. 5. 22	

2024年3月発行

編集・発行 沼津市議会  
〒410-8601  
静岡県沼津市御幸町16-1  
TEL 055-934-4711

制作協力 株式会社 静岡新聞社

印刷所 国書印刷株式会社